

令和 7 年度 第 4 回 地域のみなさまと学ぶ会を 9 月 9 日に開催しました。

褥瘡の基本

～発赤を見つけたら何をする？～



「発赤」を発見したときは、発赤部位や全身の観察、アセスメント、他の皮膚疾患との鑑別など、初期対応がとても重要です。褥瘡は発生させないことが一番大切ですが、できてしまった場合はあらゆる角度から原因を考えて、早期に対策を取りましょう。

大事なことは「皮膚の観察」です！

皮膚の変化を見逃さないことが大切
発赤など皮膚色の変化に注意して観察し「褥瘡」ではないかを判断する

*ポイント：部位に注目する

- ・ 圧迫が加わる部位、または骨突出部に一致した部位か
- ・ 局所に限局した部位か
- ・ 持続性のものか、一時的なものか

フリートークでは、在宅での褥瘡予防の重要性はかなり浸透し意識が高くなっていると感じました。発赤が発生した場合でも、サービススタッフの素早い連携で早期に対策がとれているそうです。一方で、大きな深い褥瘡と長年付き合っている人もあり、対応に苦慮している。という悩みも聞かれました。



院外 10 名 院内 3 名の方が参加してくれました。

「地域のみなさまと学ぶ会」では、地域の医療・介護を支える多くの方との新たな出会いがあります。この出会いは、体験できない多くの経験を伺う学びの機会になっています。繋がることで得られる信頼は地域の財産です。みなさまのご参加をお待ちしております。



©菊川市

BPSD とせん妄

担当：認知症看護 高畑さえ子

作成：皮膚・排泄ケア認定看護師 横山明子